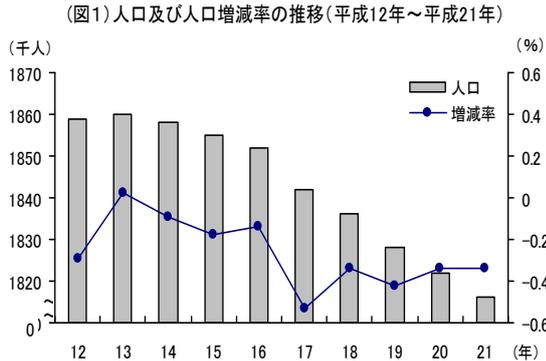


平成21年熊本県推計人口調査結果の要約

総人口	1,815,985 人	前年比	6,170 人 減少
男	853,110 人	前年比	3,167 人 減少
女	962,875 人	前年比	3,003 人 減少
世帯数	693,039 世帯	前年比	5,187 世帯 増加

1 熊本県の人口 — 転出超過により減少

平成21年10月1日現在の人口は、1,815,985人で、主に県外への転出者が転入者を上回る転出超過により、前年に比べて6,170人減少した(▲0.34%)。また、平成14年以降は減少傾向が続いている。



(表1)人口及び人口増減率の推移
(平成12年～平成21年)

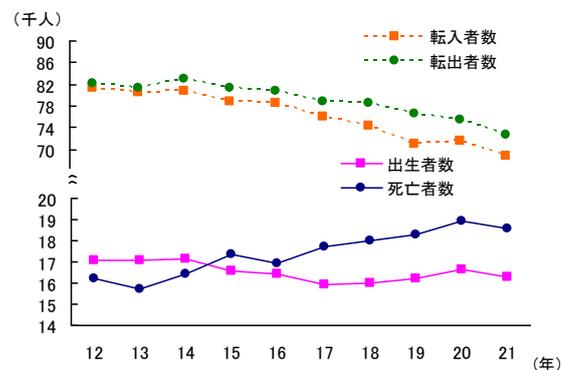
年次	人口(人)	増減率(%)
12	1,859,344	
13	1,859,752	0.02
14	1,858,070	▲0.09
15	1,854,792	▲0.18
16	1,852,135	▲0.14
17	1,842,233	▲0.53
18	1,835,909	▲0.34
19	1,828,288	▲0.42
20	1,822,155	▲0.34
21	1,815,985	▲0.34

2 人口動態 — 出生者数が4年ぶりに減少

平成20年10月から平成21年9月までの自然動態は▲2,233人であった。内訳は、出生者16,319人、死亡者18,552人で、死亡者数が出生者数を上回るとともに、出生者数は4年ぶりに減少した(前年に比べ322人減)。

社会動態は、転入者68,791人、転出者72,728人で、▲3,937人の転出超過となっている。過去10年間をみても、転出超過が続いている。

(図2)出生、死亡、転入、転出者数の推移(平成12年～21年)



3 市町村別人口 — 熊本市近郊で増加

最も多いのは熊本市の679,618人(県全体に占

める割合37.4%)で、次いで八代市132,698人(同7.3%)、天草市90,095人(同5.0%)である。

人口増減数では、前年に比べ増加したのは菊陽町(842人増)、熊本市(605人増)、大津町(401人増)など9市町村で、減少したのは天草市(1,508人減)、八代市(957人減)、上天草市(690人減)など38市町村である。

人口増減率では、前年比で増加率が高いのは菊陽町(2.4%)、次いで大津町(1.3%)、西原村(1.1%)などで、熊本市近郊市町村での増加が目立っている。一方、最も減少率が高いのは五木村(▲2.5%)、次いで、上天草市(▲2.3%)、高森町(▲2.0%)、球磨村(▲2.0%)である。

(表2)人口増減数及び増減率の上位5市町村(平成20年10月～平成21年9月)

順位	人口(人)	人口増減数(人)			人口増減率(%)	
		増加	減少		増加	減少
1	熊本市 679,618	菊陽町 842	天草市 ▲1,508	菊陽町 2.4	五木村 ▲2.5	
2	八代市 132,698	熊本市 605	八代市 ▲957	大津町 1.3	上天草市 ▲2.3	
3	天草市 90,095	大津町 401	上天草市 ▲690	西原村 1.1	高森町 ▲2.0	
4	玉名市 69,833	合志市 332	山鹿市 ▲657	合志市 0.6	球磨村 ▲2.0	
5	宇城市 62,001	益城町 106	玉名市 ▲609	玉東町 0.5	湯前町 ▲1.8	

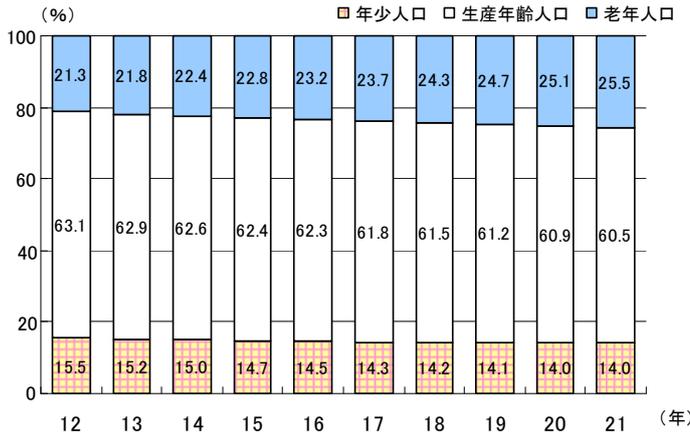
4 年齢別人口 — 県民4人に1人が65歳以上

年少人口(0～14歳)	253,546人	(県の総人口に対する割合 14.0%)
生産年齢人口(15～64歳)	1,099,148人	(県の総人口に対する割合 60.5%)
老年人口(65歳以上)	463,291人	(県の総人口に対する割合 25.5%)

年少人口は、253,546人で前年より2,185人の減少、生産年齢人口は、1,099,148人で10,379人の減少、老年人口は、463,291人で6,394人の増加となり、県の総人口に対する割合は、前年に比べ、年少人口は変化なく、生産年齢人口は、0.4ポイントの低下、老年人口は、0.4ポイントの上昇となった。

老年人口の県の総人口に対する割合は、過去最高の25.5%となった。

(図3) 年齢3区分別人口割合の推移(平成12年～平成21年)



(表3) 年齢3区分別人口の推移(平成12年～平成21年)

年次	年齢3区分別人口(人)			年齢構造係数(%)		
	年少人口(0～14歳)	生産年齢人口(15～64歳)	老年人口(65歳以上)	年少人口	生産年齢人口	老年人口
12	288,654	1,173,790	396,020	15.5	63.1	21.3
13	283,490	1,170,122	406,140	15.2	62.9	21.8
14	278,400	1,163,342	416,328	15.0	62.6	22.4
15	273,343	1,157,999	423,450	14.7	62.4	22.8
16	269,184	1,153,648	429,303	14.5	62.3	23.2
17	264,013	1,139,125	437,244	14.3	61.8	23.7
18	260,947	1,129,635	445,327	14.2	61.5	24.3
19	257,789	1,118,788	451,711	14.1	61.2	24.7
20	255,731	1,109,527	456,897	14.0	60.9	25.1
21	253,546	1,099,148	463,291	14.0	60.5	25.5

※H12、17(国勢調査)は年齢不詳人口を除く

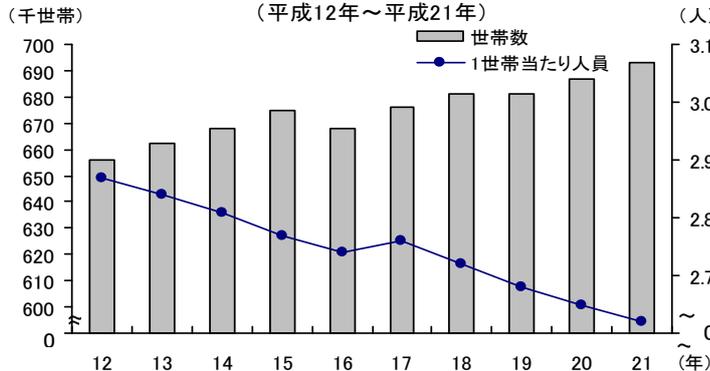
5 世帯 — 1世帯当たり人員は減少

平成21年10月1日現在の世帯数は、693,039世帯で、前年に比べて、5,187世帯増加した(0.75%)。

1世帯当たりの人員は2.62人で、前年に比べて、0.03人減少した。1世帯当たりの人員は、単身世帯の増加、核家族化等により年々減少している。

市町村別に1世帯当たりの人員をみると、最も多いのは山江村3.22人で、最も少ないのは五木村2.32人で、その差は0.9人である。

(図4) 世帯数及び1世帯当たり人員の推移(平成12年～平成21年)



(表4) 世帯数及び1世帯当たり人員の推移(平成12年～平成21年)

年次	世帯数	1世帯当たり人員(人)
12	647,216	2.87
13	655,633	2.84
14	662,076	2.81
15	668,485	2.77
16	674,815	2.74
17	667,533	2.76
18	675,555	2.72
19	681,377	2.68
20	687,852	2.65
21	693,039	2.62

(表5) 1世帯当たり人員の上位5市町村

順位	1世帯当たり人員(人)			
	多い		少ない	
1	山江村	3.22	五木村	2.32
2	相良村	3.20	熊本市	2.40
3	氷川町	3.12	水俣市	2.45
4	錦町	3.10	人吉市	2.52
5	城南町	3.06	南阿蘇村	2.55